

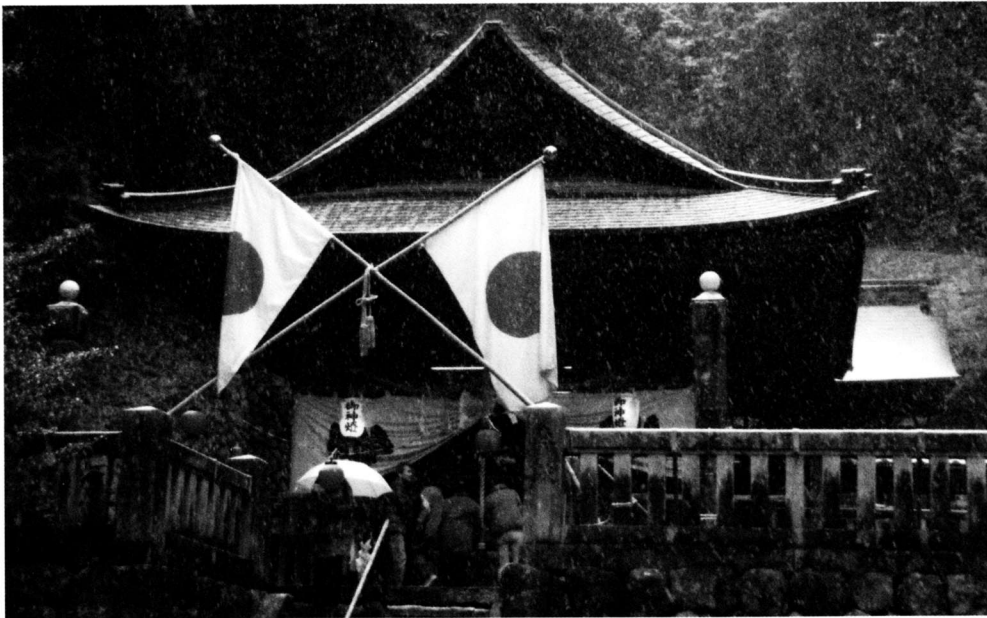
No.90

2015

2月1日発行

萩の郷

発行者
下市田区
発行責任者
下井美紀男
印刷
下市田・キタバヤシ印刷



平穏無事を祈る

初春

新年は小雨に煙る中で迎え、その後星の煌きを見せていた夜空も、朝を迎えるとともに小雪の舞う厳しい寒さとなった。そんな変動のなか、お年を召した夫婦、元気な若者のグループ、両親に抱かれた幼児…、杉木立の参道を登り、『家内安全・豊穰祈願・各種合格祈願・平和の祈り』等々それぞれに初詣の人々は続いていた。

多くの自然災害があった昨年、近隣では南木曾の豪雨、御嶽山の噴火等々多くの犠牲が出ましたが、それらを撥ね除けて生活を立て直していく人々、又ボランティアの人やそれを支える人々に逞しさを感じました。負ける訳にはいきません！

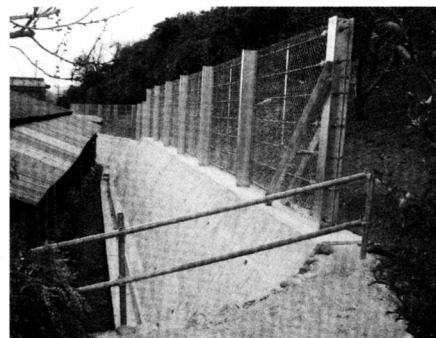
幸いにもここ萩の郷は、大過なく過ごすことが出来ています。新年に向い心新たに、みんなで共に歩む気持ちを大切にしていきたいものです。



区の情勢について

区長 下井 美紀男

平成二十六年も各地で自然災害の多い年でした。特に県内に於いて南木曾の豪雨災害、御嶽山の噴火であり、県北部の震災など、地震による家屋の倒壊という



ような状態にあって、地域での連携の良さで人命を損なうことのなかった白馬村や小谷村が尊い教訓として伝えられました。防災計画策定において大事な視点と受け止めるべきと考えます。

さて町では、リニア新時代をも見据えて、土地利用計画の策定の検討に入りました。地域の特性など、あらゆる角度から判断してゾーニングを行っていくことになりました。土地利用において、どのような下市田が望ましいかを多くの意見を踏まえてつくられることになっております。次に県営の中山間総合整備事業による下市田関係の四ヶ所の工事がすべて完了致しました。中でも二区の崩落防止のための擁壁防護工が二ヶ年余がかりで完成され、併せて下市田河原の基幹取水施設への安全対策の付加工事が竣工となり、永い間の念願の農業地帯のインフラが整いました。加えて同事業で角田原及び大丸山公園下の農道拡幅改良も順調に仕上がり、地域にとって大きな財産となりました。

次に下市田区では、森林税活用による里山整備を二年連続で行ってきましたが引き続きの提案があり、今年度も役場周辺と大丸山北側面で実施します。

松岡城址の秋を観る会

松岡城址愛護会 吉川 正晃

第四回松岡城址「秋を観る会」は、あいにくの雨の中、松源寺内で行われました。このところ三回連続で松源寺様にお世話になっていきます。秋雨の松源寺の中庭の紅葉は雨に洗われて一層映えて美しかったです。有名な鐘楼の柿すだれがみごとでした。

「鐘楼をぐるりと囲む 柿すだれ」

演奏の内容については、町の広報「たかもり」で詳しく紹介されたので省略します。春・秋の催しは松岡城址愛護会が主催になっていきます。愛護会の目的は「町の文化財である松岡城址の保存と史跡に合った活かし方をするため、町をはじめ、各団体・個人と協力し、この目的の達成を図るものとする。」とあります。

しかし愛護会発足以来年数がたち、会員も高齢化しました。現在六十四名の会員がおりますが、高齢者が多く思うように



活動ができなくなっています。先日の役員会でも若い新会員の募集や、年会費徴収等について話し合いました。春秋の演奏会を続けるためにも組織の再編成や、活動内容も新たに考えていく必要があると思われま

す。松岡城址は、本丸・二の丸・三の丸や、空堀・土塁・支城など当時の史跡がよく保存されており貴重な文化財だと言われています。山口尚巳先生も「現状をしっかりと保存することが大切だ。」と話されておりました。

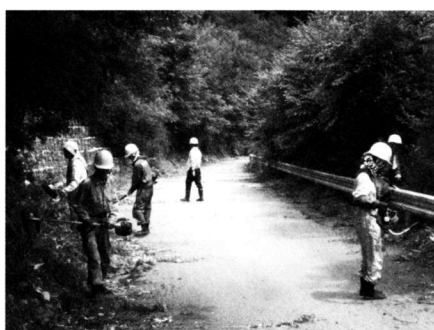
春・秋の演奏会に併せて行うことができれば、松岡城址の文化財の価値を広く知っていただけたと思われま

委員会活動報告

林務委員長 塩沢 秀幸

松岡城址を整備し、先々県の文化財へ登録できる様研修することなどが愛護会の目的に叶い、新会員の募集につながる活動になるのではないかと話し合いました。皆様方のご協力をお願いします。

区有林の管理作業をされた区民の皆様本来にありがとうございました。当委員会の活動は、区の運営規定に定められている「区有林の保護管理」の他、年末に萩山神社境内に火の用意、夏の山作業後に林道不動滝線維持管理(起点から小滝までの五百メートル林道脇の草刈り)の実施などもありますが、主な活動は区民出勤による年三回の山作業です。



当初二十六年三月に予定していた春の山作業が二月の大雪のため実施できなくなり、七月の暑い時期に初の月二回の実施となりました。作業される人数が集中することを考え、対応策として複数



備等、区三役・公民館部
員・分館長・主事の皆さ
んで用意をいたしました。

ふるさと祭り

「おしるこ」出店

高森まる 前年の経験者も
ごと収穫祭 多く、赤いバン
が十一月十 ダナと赤いエプ
五・十六日 ロンに身を包み
と開催され 各担当も区毎に
下市田区と 分け作業に入り
して例年好 ました。餅焼き・
評のおしる するこ汁・配膳
こを出店す 担当と手慣れた
ることとな ものでおしるこ
りました。 の味も年毎に変
前日より わりますが、甘
備品の調達 く美味しく出来
や材料の準 上がりました。

同日共午前中
は、あまり陽が
ささず寒さがあ

同時にお客様が
来られ予定数量
もあつという間
に終了となって
しまい、後の予
定時間まで待っ
ていただくこと
が何度かあり、
寒い中で暖か
いおしるこ。前
日に来店して美
味しかったので
又来てしまった
と言うお客さん
もいて、作る担
当者も張り合い
がありました。

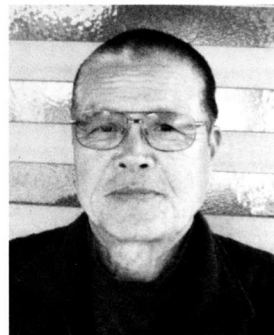
昼頃には長い列ができて
らてこまの時間となり
並んでくれるお客さん全
員に行き渡ることが出来
区で用意した二千七百食
すべて完了することが出
来ました。
天候も前年より良く雨
の心配もなく、又食事の
場所も役場前に集中しま
したが、混乱もなくスムー
ズに進んだように思いま
した。晩秋の二日間下市
田区のおしるこ店楽しく
出来大変良かったと思
いました。今年も美味し
いおしるこ作ります。

(木下 正記)



萩山郷土芸能保存会

幹事長 福島 昇



おける獅子舞の
発表が盛大に、
かつ成功裏に開
催できますよう努めてま
いる所存でありますので
皆様のご協力をお願い
いたします。
さて、春祭りの準備は、
年明け早々から獅子曳き
子供御三家、女性応援隊
員の選出依頼等すでに始
まっており、二月には神
社をはじめ各団体等との
打ち合わせで皆様のご協
力をお願いし、三月に入
りますと、七日の執行部
等運営委員会との打ち合
わせを皮切りに、十一日
の稽古始め、二十二日の
区民の皆様による屋
台等の準備作業を経
て、二十八日宵祭り、
二十九日春祭りの本
日を迎えることとな
ります。

平成二十七年度 幹事会役員



皆様は、区民の
皆様の祭りです。桜
咲くこの季節、飯伊
地区春一番の祭りに
ご参加され、獅子舞
の発表会を楽しんで
いただき祭りを大い
に盛り上げていただ
きますようお願いい
ます。

獅子部

幹事部長 上沼 春樹
同 副 小林 靖志
同 副 矢澤 克浩
同 副 竹村 進

囃子部

幹事部長 原 文夫
同 副 小川 修
同 副 市岡 義久

獅子曳き部

幹事部長 小川 俊雄
同 副 片桐 良
同 副 北原 喜好

幹事部長 二区 福島 昇
副幹事長 四区 牧島 寿明
同 五区 遠山 元
会計幹事 二区 北沢 治
同 一区 富田 幸雄
副 同 一区 上村 敏幸
同 四区 小島 重剛
同 二区 平沢 卓彦
同 二区 坂牧 義之
同 三区 片桐 良
同 五区 小川 俊雄
同 六区 久保田 均
同 六区 福島 文雄

下市田高寿会について

会長 北澤 善二郎

六地区の六十歳以上の市田在住の該会員でつくる単位クラブの連合四百名をもって構成しています。

活動目的として、親睦を深める・健康の増進維持を図る・教養を高める・地域へのお礼活動(発展と奉仕)であります。

具体的活動として、総会 親睦会と講演会 金婚式該当者の表彰 奉仕活動

大丸山公園清掃、区民会館清掃 毎月当番区、萩山神社・荒神社の清掃 年三回全会員によるその他

シニア大学への参加、福祉募金への協力、安全意識向上の活動(交通・詐欺・健康)等を行っています。

単位クラブの会員数は、
一区 五九名 年度始
二区 一〇〇名
三区 五七名
四区 五一名
五区 五一名
六区 七六名
先にも書きましたが会

員の四百名という市田在住の該当者数の6%にすぎません。「高寿会」にせよ「老人クラブ」にせよ、誰でも必ず通る道中であります。家業の暇に高寿会に入り、お互いを知り合い、お互いに助け合い、支え合っ



萩山神社新総代挨拶

氏子総代長 中垣 啓成

このたび任期満了に伴う役員改選において不肖私が総代長を務めさせていただくことになりました。

第二に土地建物・施設物等区民共有の財産をお預かりしておりますので危険のないように日常の安全巡視点検を行うなど、善良な管理者の注意をもって、維持運営管理に努めてまいります。ただし樹木が多いうえ大木になっ

ておりますので枝が枯れ落ちたりと管理が大変ですが、林務委員会のご協力をお願いいたします。

当神社は、大きな鎮守の森と、第一鳥居から拝殿迄真っ直ぐに造られた参道は他に類を見ない立派なもので、区民が自慢できるものであります。加えて、八幡社・荒神社の神様もおられます。

今後の目標としては、第一に長い歴史と伝統により大勢の方々に引き継がれてきた祭祀を、紛うことなく、所作等正確に確実に行っていかなくてはなりません。敬神の念を持ち、神の恵みと祖先

の恩とに感謝し、明き心と第三に、来年は御柱の年になりますので、区および関係者ならびに運営委員会の皆様と連携を密にして遺漏のないよう準備を進めてまいります。

区民の皆様が今年も平穏でお健やかなことと、五穀豊穡、盛業繁栄を願ひ、神様のご神徳をいただけるよう、総代六名祈念するとともに、力を合わせお宮の運営に努めてまいりますので、宜しくお願いいたします。



計 小川 光 春



副総代長 瀬 高 肇



総代長 中垣 啓成



五 区 木 村 菊 夫



四 区 塚 本 洋 四 郎



二 区 松 島 繁 實

特集
正月写真集
未来に羽ばたけ未来

美

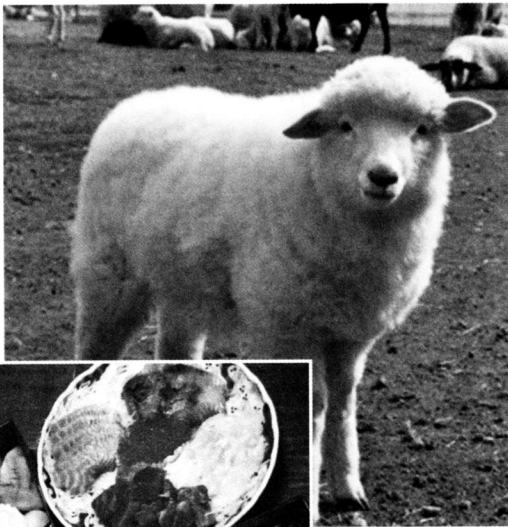
「ひつじ年」
大きく伸びよ
美しく

：「羊」という文字に
「大」という字を加える
とどういうわけか「美」
という字になります。こ
の千支の年にあやかり、
皆、美しく伸びてほしい
ものです。



「ひと文字に
想いを込めて
新春迎え」
：「ひと文字」の「ひ
と」には「一字」という
意味と「人」という文字」
の二つの意味があります。

初富士の
ダイヤに祈願
サクラ咲け！



ひつじ年
心も体も
温かく



お年取り
集う笑顔が
温かい



。川に沿ふ雑木林の梢はや
萌黄色帯ぶ二月の空に

。すずしろの輪切りのやう
な昼の月
どんどの御幣のその先に
澄む



ようこそ下市田へ

下市田のみなさん

こんにちは

うになると
思いま
すの
で、私
もと
ても
楽し
み
で
す。

五区 久保田 加代子

高森地区

主人の実家がある下市田の中でも下市田は比較的、田に家を建て五年目になりました。現在、主人と四月から年長になる息子と犬二匹で暮らしております。

夫婦で働いておりますので、小さい頃から息子を保育園に預けており、淋しい思いをさせているところはありますが、主人の両親が近くにおりますので、色々とお世話になって頂きます。近所にも同年齢の子供や、同じ吉田河原保育園に通うお友達もいて、一緒に小学校に通うのを息子も今から楽しみにしています。

小学校に通うようになると、息子を通じてもっと色々な方との交流が出来るよ



萩の郷の井水に想う

四区 原 次郎

うとしている。
江戸中期以降の古

戦前は古くから灌漑用水が命に次いで大事で萩の郷の井水はほとんどが大島川の水で賄われ、主要井水路からそれぞれの堤に引水され、井頭役の権限で各水田へ配水され、植付が行われた。現代は竜西一貫水路の完成（昭和十六年）等で環境が大きく変わり、重要な井水も忘却され、

随想

自然災害から学ぶこと

五区 大場 優彦

災による被害、

また東日本大震災では、津波に

私は、現在、防災委員をしていますが、その立場から、最近の自然災害について、感じている事を、話したいと思ひます。

今年、阪神淡路大震災から二十年、また東日本大震災から四年です。これらの震災の現状を見るにつけ、胸が痛む思いです。多くの尊い人命が失われ、家屋の倒壊や火

公園の上へ太白公園の下で下市田北井（元治元年）、水量の二分一、南井と分ける。この分水は鑄井原・三ツ井（寺井・間ヶ沢・宿方用水）となる。

ひょうたん堤（豆田の堤）下市田一区、日影牧の内（初崎の堤）一・二区・唐沢井・新堤（津々美原の堤）二区・三区・江戸ヶ沢井・間ヶ沢井・三・四・五区

三十八年であり、下市田河原全体を含め潤い、これも先人の偉業に感謝すると共に、今後堤・水路共に無災害であることを祈念するものである。

いけないと、率直に感じました。

この地域も、東海沖地震の強化地域に指定されています。

「災害は、忘れた頃にやってくる」という言葉があります。



私達は、一人一人が常日頃から、災害に対する心構えをする必要があると思います。地震に限らず、台風や降雪等もそうです。

各家庭でも、防災に関する話をしたり、非常持出し品を確認したりして、防災意識を高めていただければと思います。

自然災害の恐ろしさを、まざまざと感じずにはいられません。

争の素因ともなった
南北井の分岐点



充実した中学校生活

中三 松原菜々子（二区）

援する声に励
まされて勝ち
進むことがで

色々なことがあった中
き、四位で南信大会出場
学校生活も残りわずかか
という結果を残すことが
なっていました。三
年間という短い時間の中
感動は今でも忘れられま
でさらに短く、そして一
番楽しく感じたのは三年
であるこの一年でした。

部活では、私はソフト
テニス部に所属しており、
夏の中体連下伊那地区団
体戦ではレギュラーとし
て出場することができま
した。仲間達の必死で応



生徒会では生活委員会
副委員長となり、文化祭
では役員としてステー
ジで行動することがあり
ました。文化祭までの準
備が忙しく休日も学校に
行くことがありました。一
つでも多くの思い出を
残したいです。

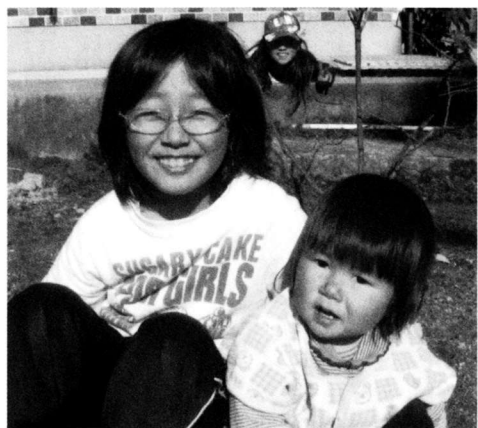
仲間と過ごせる残りわ
ずかな一日一日を大切に
間にも多くの思い出を
残したいです。

わたしのいもうと

小四 杉田なずな（四区）

朝、学校に
行く前「さな
ちゃん」が

わたしには、一さいの
え」がおきてきて「あー
赤ちゃん「さなえ」がい
よ」と言ってくれるとき
があります。



「さなえ」が、
かわいいで元氣
パワーをもらって
います。
学校から帰って
きて、部屋に入る
と、だいたい「さ
なえ」は、テレビ
を見ています。
わたしが、さな
えの前で「ただい

分館長・分館主事研修旅行

六月に一泊二日で、下
市田区の公民館関係者に
よる京都・大阪研修旅行
が行われました。

京都に着くとまず、京
都御所・旧皇居に行きま
した。築地塀で囲まれた
広大な敷地の中に、紫宸
ま」と言う、さなえは、
頭を上下に動かして、に
こっとわらいます。

とってもかわいいです。
「さなえ」は、おやつ
を食べるのが早いです。

自分のおやつが食べ終わ
ると、わたしたちのをとっ
ちやうから、みんな「早
く食べ終わらないと。」
と思っています。

「さなえは」ときどき
熱が出る時があります。
そのときは、食よくがな
くて、「かわいそう」と思
います。

「さなえ」は、まだ赤
ちゃんだから、できるこ
とが少ないし、わたしは、
おねえちゃんだから「さ
なえ」を、しっかりサポ
ー

に大阪は国際都市だなど
思いました。

紙面の関係で、詳しく
紹介できませんでしたが、
私にとってこの研修旅行
は、新しいことを学んだ
り、多くの人と知り合っ
たりでき、大変有意義で
した。私たちの身近にあ
る安養寺も松源寺も、本
山が妙心寺ということ、
見学が楽しみでした。特
に、法堂にあった狩野探
幽筆の天井画雲龍図は、
見る位置に
よって変化
する迫力の
あるもので
した。

その後、
仁和寺を見
学して大阪
に向かいま
した。
大阪での
夕食は美味
しく、先輩
方とも沢山
話ができた
した。ホテ
ルや通天閣
では、外国
人旅行客が
多く、流石



H26・6・21 妙心寺にて

（上沼 寛記）

地域の紹介

二区の紹介と近況報告

二区自治会長 北島邦夫

さて、昨年度に於いては念願で

私達二区は、世帯数百二十戸と下市田区の中でも比較的小さな区であり、七常会、十五組合から成り立っております。パーシモン会館から豊丘方面を見下ろせば、眼下に天竜川が雄々しく流れ、田園地帯が広がっております。特に秋の黄金色に輝く田園風景にはしばし時を忘れるかのような絶景と化します。又、近隣にはショッピング・パースを始め、薬局・御食事処・娯楽店・コンビニ・郵便局・白バイ隊基地・スタンド他多くの施設が構えており大変都合の良い地域で有り難く思っております。



ありました農地防災整備事業の崩落防止の工事が二十五年度・二十六年度に渡りついに完成いたしました。県を動かした大きな工事が完成出来たのも、一重に町建設課の絶大なるご支援と、区・地元地権者のご理解ご協力あってのもの感謝申し上げます。区民を代表して御礼申し上げます。又、二区では毎年恒例となりました新年会をパーシモン会館において今年も町長をお迎えし五十余名の参加者の元、新年の祝いと相互の親睦を計り楽しいひと時を過ごしました。こうして継続出来ているのも区民の結束力があってこそ思っております。今後も区民が一体となり益々明るく住み良い二区となりますよう自治会を中心に頑張っていく所存です。最後になりますが、区民の皆様の方々のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

編集委員会研修旅行「奥飛騨高山の旅」

編集委員会の研修旅行

が、十一月三十日(日)に行われ、車窓からは奥飛騨の高山です。下井区長さん以下十四名で行ってきました。

前日の雨模様から一転、秋晴れの天気恵まれ、ルートは安房峠を抜け平湯を通り高山に至るルートです。出発時は濃霧に覆われ、伊那を過ぎたころようやく青空が見えてきました。

松本ICをおり、R158を進むにつれ、車窓からは見ごろを迎えた紅葉が、目に飛び込んできました。また安房トンネルを抜け、平湯から高山へと下り始めると、雪をいただく白山の山塊が姿を現し、雄大な景色をしばし堪能できました。

高山では、古い街並みの探索を楽しみました。藩主の金森氏が山形へ移ってから幕府の直轄地となり、その郡代役所の建物が当時のまま残っているのは、全国でも高山だけ

二年間の無火災で受賞

飯田広域消防本部から感謝状

区長 下井 美紀男

このたび平成二十七年の高森町消防団の出初式に於いて、この二ヶ年間に建物火災がなかったこと、消防長 桂 稔様から感謝状という形で表彰していただくことができました。(区民会館ロビーに掲示)

平成二十六年は各地で数々の自然災害に見舞われ、防火・防災・減災に対する地域での取り組みもいろいろと考

という旧金森邸の「高山陣屋」をはじめ、伝統的な酒屋や所狭しと並ぶ旧家を改装して、お土産屋となっており、雪をいただく白山の山塊が姿を現し、雄大な景色をしばし堪能できました。

ききに見張り、帰路は東海北陸道経由で帰着しました。秋の一日、飛騨高山の情緒の一端に触れ、歴史を探究した研修旅行となりました。(玉置淳一記)



無火災地区で萩の郷

萩の郷

感謝状

貴団は常に火災予防に努められ、二年間の無火災を達成されました。この功績は消防行政において誠に素晴らしいものであり、ここに感謝の意を表します。

平成二十七年一月十一日
飯田広域消防本部
消防長 桂 稔



編集後記

今年は羊年ですが、群れをなす羊は、家族の安泰を表すとされ、いつまでも平和に暮らすことを意味している。

最近、食品に異物が混入していた等の報道がありました。以前は栄養面が重視されたが、今では併せて安全な食品を求め、家族で食卓を囲む「団欒」も大切なことです。これからも一層の「食の安全、安心」を願いたい。